

2012年2月29日

東大阪地域労組「働く仲間の会」

東大阪地域労組「働く仲間の会」

〒578-0985

東大阪市中野南1-36

かわち勤労会館内

TEL 072-961-6653

FAX 072-961-6432

NO.158

発行責任者

河野 禮三

# 仲間の会ニュース

## 橋下市長・維新の会の教育基本条例・職員基本条例に高まる反対の声

橋下大阪市長・維新の会による教育基本条例・職員基本条例に対する世論が高まる。同時に、橋本市長の平成24年度予算が明らかになるに従い、広範な市民からも批判の声が高まっています。一つは年間200億円の利益をあげている地下鉄を私鉄に売り払おうとしていることです。それにもない選挙の時は「廃止しない」と約束した敬老パスを、有料にして残そうとしていること。敬老パスを残してほしいというのには無料のまま残してほしいということであり、有料にすることであり、有料にして残すなど公約違反もはなはだしいものです。新婚の家賃補助も4ヶ



月の予算のみであり、こののちどうなるかは不確定です。また、国民保険の減免も廃止しようとしています。また赤バス補助金14億円の廃止を決め、赤バスの存続が危うくなっています。障害者や老人などの交通弱者にとっては足を奪われる大問題となっています。

またツイッター上で、橋本市長は、「日本では、震災直後にあれだけ『がんばろう日本』『がんばろう東北』『絆』と叫ばれていたのに、がれき処理になつたら一斉に拒絶。全ては憲法9条が原因だと思っと思っています」と公然と憲法9条の改正と憲法改正の国会の必要な議決を2/3から1/2以上に変えようと言っています。まさに危険な政治家とよばなくてはなりません。

教育基本条例・職員基本条例の成立をばみ、悪政を日本全国に広げようとしている野望をくじこうではありませんか。

### たたかうなかま \*\*さん\*\*さん



昨年8月、\*\*さんは体調が悪く、会社に休む旨連絡しましたが、「電話ができるくらいなら出勤せよ」と言われ、「体調が悪いからどうしても休ませてほしい」と重ねて言うと、「明日から出勤しなくてよい」と言われまして。電話の近くにいた\*\*さんが、「身体がしんどいのだから休ませてあげたら」というと、「あなたも明日からこなくてよい」と言われ、納得できない二人は、「働く仲間の会」に相談・加入して、たかうことになりました。この介護施設を経営する\*\*さん介護福祉センターは、悪質な企業で、

労働基準局の指導にも従わず、再三の団体交渉の申し入れも無視をしました。

問 団体交渉の申し入れに応じてこないから、労働審判に提訴したのですか。

答 裁判にまでかけられて代表取締役が出頭しましたが、答弁書もださないのですよ。

問 出頭したときの態度はどうでしたか。

答 代表取締役の女性は女性ですが、男性を連れてきました。その男性は会社の登記簿には名前がのつておらず、その男性を裁判所が裁判に同席させたのです。組合の委員長は同席を許さないのに、経営者側を優遇する、裁判官の訴訟手順にも腹がたちました。

問 \*\*さんは裁判官に抗議したのですか。

答 一回目は、おとなしくしていたのですが、二回目の時には、会社になんかの関係もない人を同席させるのはおかしいと抗議しました。また、会社側が二

人で30万円と提案している聞き、「なめとんのと違う」と言ってやりました。裁判官は苦笑していました。3ヶ月分の給料で和解しましたが、「不満であれば本裁判でやってもらってもいいですよ」と言われましたが、長引いても思ってたやめました。

問 なんか事業を始めるとか？

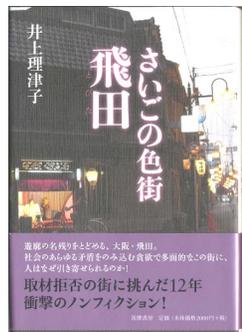
答 自分で介護事業を立ち上げようと、介護ができる事業所に登記しました。大東の方で事務所も設け、始めようと思えます。近くに介護が必要な人がいれば、ぜひ紹介してください。

問 事業所の案内のリーフレットをもってきてくれれば、事務所においておきます。

答 ありがとうございます。



書評



「最後の色街 飛田」(作：井上理津子)の本を書店で見... ぜび書評にとりあげたいとおもった。本棚に並べてお... ほどの本ではないのに2100円も出して買うまではと... 思い、図書館に電話したが、生駒図書館で20数人、大阪府立図書館では60数人が貸し出しを待っていると言う。このままでは書評を書くのに、6ヶ月か1年かかってしまう。「えいっ」と決断し書店で購入した。

著者は、2000年から2011年までの12年間、飛田の住人をはじめ、料亭の経営者、料亭で働く女の子、引き子のおばちゃん、さらには飛田周辺の暴力団の幹部、警察にいたるまで、飛田に関係する人にインタビューし、この本を書き上げた。主観を交えず、面接した1人ひとりからの証言をもとに、飛田の全体像を明らかにしている。

と。「耳かき一杯2万円であえで」と薬の売人に声をかけられたこと。そして、「こてんぱんな奴」に追っかけられたことなどである。「こてんぱんな奴」とは「身ぐるみはがしよる奴」で、命まではとらないが、暴力をふるい、一切を奪う連中である。著者は追っかけられ、ラーメン屋に飛び込み難を逃れる。

料亭の主人をやっているマツノさん、92歳の老婦人は、「この仕事をしてよかったとおもふことは」と聞かれ「この商売をしてよかったとおもふことは、これまで一回もなかったね」と答える。その娘の梅田さんは「そうや、こんな仕事、欲と一人連れでなかったらでせん」と答える。

戦前の遊郭の時代から経営者は、飛田で金を儲けると、他の地域に出て行ったと言う。それは、市街地の商家が単に郊外に住宅を求めたのとは違う。どんなに金を持っていても、遊郭の主人は亡八(仁、義、礼、智、忠、信、孝、梯の八つの徳目すべてが欠損した者)と言つて蔑まれた。わが子が、飛田の子だという色眼鏡を避けたい親心であった。働いている女の子は、「現状満足度は何と聞かれ」「ゼ口癖やな」と答える。それで

も、みんな生きていくために飛田にいる。

「多くの『女の子』『おばちゃん』は、他の職業を選択することができないために、飛田で働いている。他の職業を選べないのは、連鎖する貧困に抗えないからだ。抗うためのベースとなる家庭教育、学校教育、社会教育が欠落した中で、育たざるを得なかった。貧困の連鎖、負の連鎖である。

しかし、まともな事をしていないという負い目は、時に爆発する。著者は『女の子』とミナミの居酒屋で会ったとき、「彼女は生ビールのグラスが汚れていたとアルバイトの若い女性を頭ごなしに怒り、料理の運び方になっていない、客をバカにしているのか、と声を荒げた。自分が“上”の

位置にいらるとの誇示と、普段抑圧下にいるストレスの発露だと思ふ。」と書いている。

2009年10月、「飛田新地料理組合」の入る飛田会館で著者は、料理組合の組合長と茶髪の弁護士が二人で写っている写真を見る。そして壁面には組合長以下の幹部の名札の末尾に橋下事務所の名札がかかっているのを見する。女の生き血と汗を吸ったあぶく銭に群がる人間達の1人に話題の人がいる。この男は後ろめたさも恥ずかしさもないのか。あるいは、あるからこそ汚い金に依存しないで安穩と暮らす大阪府職員や教員に憎悪を燃やすのか、一度聞いてみたいものである。

楠本員久

当面の日程

- 3月 1日(木) 組織拡大スタート
- 2日(金) パート1000人パレード
- 11日(日) 3.11大阪府民集会  
11時 扇町公園  
パレード 2時
- 15日(木) 河内総行動 荒本
- 18日(日) 2条例集会パレード
- 23日(金) 環職労支援集会  
ユトリート三階6時30分
- 25日(日) 東大阪地域労組「働く仲間の会」再建10周年記念レセプション
- 4月 8日(日) 働く仲間の会「花見」  
花園中央公園
- 26日(木) メーデー前夜祭  
6時30分～  
希来里 6階ホール

東大阪地域労組「働く仲間の会」再建十周年記念レセプション

日時：3月25日(日)午前11時30分

場所：かわち勤労会館 《参加者には記念品あり》